信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
1／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）					北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1．ハード対策の主な取組																														
■洪水を河川内で安全に流す対策																														
		・河道掘削 ・侵食対策 ・浸透対策 ・築堤	W, X	引き続き整備	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進	・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する。 (H23.7水害対応の河道掘削を実施。)	引き続き整備	・洪水を安全に流すためのハード対策を推進する。 （五十嵐川、中ノ口川、加茂川、下条川等）	引き続き整備																						
						・関屋分水路（H24～）。 ・山島新田地区（H27～）。 ・栗林・大島地区（H28～）。	・引き続き整備	・中ノ口川（河道掘削、築堤）、加茂川（築堤）、下条川（築堤）の工事発注済み。	・引き続き整備																						
		・信濃川下流及び中ノ口川の治水安全度バランスを考慮した蒲原大堰・中ノ口川水門の施設操作運用の検討、調整	Y	順次実施	施設操作運用の検討、調整	・蒲原大堰・中ノ口川水門の施設操作運用の検討、調整	順次実施	・蒲原大堰・中ノ口川水門の施設操作運用の検討、調整	順次実施																						
						・蒲原大堰・中ノ口川水門の施設操作運用の検討（H28～）。	・引き続き検討、調整を実施	・検討中。	・引き続き検討																						
■流出抑制対策																														
		・ダムの嵩上げ、遊水地の整備	W	引き続き整備	遊水地の整備、ダムの嵩上げ			・五十嵐川遊水地の建設 ・笠堀ダムの嵩上げ	引き続き整備											・既存消雪井戸を活用した浸水軽減策。	H29.3月完了予定										
								・五十嵐川遊水地の整備及び笠堀ダムの嵩上げ工事実施中。	・引き続き整備											・【H29.3】浸水想定区域付近に雨水地下注入浸透事業実施、設置完了。	・H28年度完了										
■内水対策																														
		・排水機能の配備	T	順次整備	排水ポンプ場の整備等の、排水ポンプ車の整備	・排水ポンプ車の更新・増強	順次整備（H29～H32年度まで）	・布施谷川・新川排水路下流部の内水対策（ハード・ソフト） ・新通川・島田川の河道拡幅	引き続き整備			・雨水排水ポンプ場の整備（白根水道町、山田）	順次整備（H30年度完了予定）			・布施谷川・新川排水路下流部の内水対策（ハード・ソフト） ・新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業 ・裏館第１雨水幹線排水区域内水対策事業（公共下水含む）	・順次整備（H29～32年度まで） ・順次整備（H31年度完了） ・順次整備（H29年度完了）	・加茂川・下条川への雨水ポンプ場の整備	順次整備			・須頃郷1号排水路整備事業	順次整備（H29年度完了予定）								
						・排水ポンプ車や照明車等の災害対策車輌・機器について、平常時から定期的な保守点検を行い、災害発生による出動体制を確保している。	・引き続き実施	・関係機関と連携し対策（ハード・ソフト）について検討中。 ・新通川・島田川（河道拡幅）の工事発注済み。	・引き続き実施			・雨水排水ポンプ場の整備（白根水道町、山田）。	・引き続き整備			・布施谷川・新川排水路下流部の内水対策（ハード・ソフト）。 ・新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業 ・裏館第１雨水幹線排水区域内水対策事業（公共下水含む）	・順次整備（H29～32年度まで） ・順次整備（H31年度完了） ・順次整備（H29年度完了）	・次年度以降、追加の整備を検討。	・引き続き検討			・H29度完了に向け、引き続き事業実施予定。	・順次整備（H29年度完了予定）								
		・調整池の整備 ・田んぼダムの活用	T	順次整備	調整池等の整備							・調整池等の整備 ・地下貯留施設（雨水貯留管）による浸水対策	順次整備	・調整池等の整備	順次整備	・調整池等の整備	H28年度完了予定	・調整池等の整備の検討	順次検討	・調整池等の整備	順次整備	・調整池等の整備	順次整備			・調整池等の整備	順次整備	・調整池等の整備	順次整備		
												・調整池等の整備。 ・地下貯留施設（雨水貯留管）による浸水対策。	・引き続き整備	・開発許可申請者と適正な協議を実施。	・順次整備	・調整池等の整備。	・H29年度完了予定	・整備の検討。	・引き続き検討	・整備箇所を検討中。	・引き続き実施	・調整池等の整備。	・H28年度完了			・既存の調整池等の適正な管理を実施し機能を維持。H28.8清掃実施。	・引き続き実施	・整備の調査・検討。	・引き続き実施		
					田んぼダムの整備・活用			・地域の自発的な共同活動として行う流出抑制の「田んぼダム」の取組について、国、市町村と連携し支援を行っている。	順次整備			・田んぼダムの活用	順次整備					・田んぼダムの活用の検討	順次検討	・田んぼダムの活用	順次整備	・田んぼダムの活用	順次整備			・田んぼダムの活用	順次整備	・田んぼダムの活用	順次整備		
								・国、市町村と連携し、田んぼダムの普及啓発に取り組んでいる。	・引き続き実施			・田んぼダムの活用。	・引き続き整備					・引き続き検討。	・引き続き検討	・排水調整管の適正設置を確認中。	・引き続き実施	・H28年度実施なし。	・引き続き検討			・田んぼダムの活用。	・引き続き実施	・田んぼダムの活用。	・引き続き実施		
■危機管理型ハード対策																														
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	Z	H28年度から順次整備	堤防天端の保護	・堤防天端の保護（アスファルト舗装等）	H28年度から順次整備	・堤防天端の保護	H28年度以降検討																						
						・加茂新田地区（H28年度完）。 ・石上地区（H28年度完）。 ・大川津地区（H28年度完）。	・H28年度完了、引き続き実施	・要対策箇所について検討中（H28～）（河川整備課）。 ・五部一川において堤防天端舗装を実施（五泉市青橋地区）（新津）。 ・地域活性化推進事業において、刈谷田川で堤防天端舗装（利用目的）を実施（長岡）。	・引き続き検討、調整を実施 ・H28実施済、引き続き実施																						
					堤防裏法尻の補強	・堤防裏法尻補強	H28年度から順次整備																								
						・小須戸地区（H28年度完）。	・H28年度完了、引き続き実施																								

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
2／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																															
		①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q	H28年度から検討	水防資機材の確認・整備	・水防団と自治体との水防資機材の確認を実施	引き続き実施	・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施			・河川管理者や水防団と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	・水防資材の十分な確保	引き続き実施	・自治会に対する水防資機材の十分な確保	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り必要資機材の配備の検討を行う。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討						
						・【H28.5.25.26】合同巡視時に水防団・自治体と一緒に水防資材を確認。毎年出水期前に実施。	・H28年度実施済、引き続き実施	・水防資器材の配備状況の確認を実施(各地地域)。 ・水防倉庫の修繕整備（棚を設置し収納力及び使いやすさを向上）（新潟）。	・H28年度実施済、引き続き実施			・【H28.5～】各区において水防資機材の配備状況を確認し、不足数を補充するなど整備を行っている。	・引き続き実施	・H28年度の出水期前に実施。	・引き続き実施	・水防資材の十分な確保。	引き続き実施	・予算の範囲内で引き続き実施。	・引き続き実施	・更新・配置及び数量について検討中。	・引き続き実施	・調査・検討を継続。	・引き続き検討	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。	・引き続き実施						
					新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・新技術（水のう工法等）を活用した水防活動	・H28年度から検討	・新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	・H28年度以降検討					・情報を収集し、必要性を検討	H28年度から検討									・H23水害の教訓として、市の倉庫や消防器具置場、町内会館等に配備済みで、新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討		
						・水のう工法を実際の訓練等で実施していく。	・H29年度水防訓練より実施	・耐候性土のうの整備（三条、長岡）。	・順次整備					・情報を収集し、必要性を検討予定。	・引き続き検討									・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。 ・新技術を活用した水防資機材等の配備については、検討中。	・引き続き実施	・資機材の配備状況の確認を行なった。整備を検討する。	・引き続き実施	・引き続き必要な資機材を検討。	・引き続き実施		
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置を行う	J,L	H28年度から順次整備	CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	順次整備																						
						・危険箇所に追加設置。今後も状況に応じて検討する（H28簡易水位計6台、CCTVカメラ4台）	・H28年度実施済、状況に応じて順次整備	・H28年度、刈谷田川（大沼新田）において、水位計を設置（長岡）。 ・猿橋川（成願寺）において、水位計の設計を開始（長岡）。 ・H28年度、点検で機能低下が判明した道金、新通川内水位の水位計を更新。	・順次整備																						
		③庁舎等の耐水対策	S	H28年度から順次検討	庁舎等の耐水対策	・県管理河川の浸水想定区域を踏まえて検討	H29年度から検討	・庁舎等の耐水化の検討	H28年度以降検討							・新たな浸水想定区域に対応した対策の必要性の調査等を含め検討	今後検討			・浸水想定状況等を参考にして、今後の対応について検討	H28年度から検討					・庁舎の耐水化について、調査・検討する。	H28年度から検討	庁舎の耐水化について、調査・検討する。	H28年度から検討		
						ー	・H29年度から検討	・庁舎については浸水時の機能維保の検討を行い、必要な庁舎で電力供給の安全対策を実施済みである。	・引き続き検討							・新たな浸水想定区域に対応した対策の必要性の調査等を含め検討。	・今後検討			・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せ検討中。	・引き続き実施					・施設整備費用の積立を開始。	・H29年度以降実施	・検討中。	・引き続き実施		
		④排水機場の耐水化	T,U	H28年度から順次検討	排水機場の耐水化			・排水機場の耐水化を検討する。	H28年度以降検討			津波浸水などを含め、耐水化について、調査検討する。	H29年度以降に検討を開始			・今後の対応について検討（該当施設の調査等）	今後検討	・排水機場の耐水化について、検討する。	H29年度以降検討	・施設状況等に応じて、今後の対応について検討	H28年度から検討							・排水機場の耐水化について調査・検討する。	H28年度から検討	・今後、事業化に併せて、内水に係る超過降雨による洪水時に備えた排水機場の耐水化を検討(ポンプ場の設計基準改定においても、耐水化も含めて検討中)	H28年度以降に検討を開始
								・検討中。	・引き続き検討			・津波浸水などを含め、耐水化について、調査検討する。	・県からの情報提供後から検討を開始			・今後の対応について検討（該当施設の調査等）。	・今後検討	ー	・H29年度以降検討	・関係機関による情報共有を行い、検討の準備を開始。	・引き続き実施							・検討中。	・引き続き実施	ー	・H29年度以降から検討

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
3／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2. ソフト対策の主な取組　①信濃川下流等の大規模水害の特徴を踏まえた避難のための取組																															
■情報伝達、避難計画等に関する事項																															
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信、防災情報の充実	G.H I.J	順次実施	河川防災情報等のシステム改良スマートフォンを活用した情報発信SNSを活用した情報発信			・新潟県河川防災情報システムの改良及びスマートフォン向け画面の検討	H28年度以降検討			・川の防災情報の充実	H28年度から実施	・SNSの活用による情報発信 ・川の防災情報の充実	引き続き実施			・川の防災情報の充実	引き続き実施	・川の防災情報の充実	引き続き実施	・SNSの活用による情報発信 ・川の防災情報の充実	引き続き実施			・川の防災情報の充実	引き続き実施	・川の防災情報の充実	引き続き実施		
								・平成29年出水期までにスマートフォン向け画面を公開済み（河川管理課）。	・引き続き実施			・川の防災情報発信のため、防災メールやツィッターなどのシステムを整備している。	・引き続き実施	・SNSの活用による情報発信を実施中。	・引き続き実施			・情報発信の手段の多様化について、引き続き検討。	・引き続き検討	・防災情報の的確な配信体制の構築に努めた。	・引き続き実施	・SNSの活用による情報発信。 ・川の防災情報の充実。	・引き続き実施			・防災情報メール（登録者）への情報発信を実施中。 ・川の防災情報の充実。	・引き続き実施	・川の防災情報の充実。	・引き続き実施		
					信濃川下流域情報プラットホームの拡充	・信濃川下流域情報共有プラットホームにおいて、阿賀野川河川事務所及び信濃川河川事務所の防災情報をあわせて一元化し、共有・閲覧できるシステムを構築。	順次実施																									
						・阿賀野川流域はシステム改良中、信濃川中流域はシステム検討中。	・阿賀野川はH29年度より運用開始予定																								
					水位・気象情報等の情報発信	・アドホック（簡易）水位計の整備。 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信。	順次実施	・隣県水位局の情報を掲載 ・洪水時における水位の緊急速報メールの検討	H28年度以降検討	・気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知	引き続き実施																						
						・アドホック（簡易）水位計を追加設置。今後情報共有プラットフォームに追加する。 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信H29年出水期前実施に向け準備中。	・引き続き実施 ・H29.5実施予定	・隣県水位局の情報をH29出水期までに新潟県河川防災情報システムで公開済み（河管）。 ・プッシュ型配信については引き続き検討。	・引き続き実施	・適宜実施。	・引き続き実施																				
					カメラ映像の情報提供									・市内設置の河川監視カメラ映像の提供	引き続き実施							・市内冠水危険箇所における監視カメラの整備	引き続き実施										
														・ホームページ上で河川カメラの映像を公開。	・引き続き実施							・【H28.7】整備済み。	・H28年度完了										
					自治体への情報伝達（ホットライン）			・自治体へのホットラインの実施	H28年度以降検討	・必要に応じて、自治体に情報伝達（ホットライン）を実施	引き続き実施																				
								・ホットラインを確保済み。 ・今出水期から運用開始。	・引き続き検討	・適宜実施。	・引き続き実施																				
					防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報							・危険箇所の範囲や避難所の位置を分かりやすく表示する「にいがた防災アプリ」について、更なる普及のため周知・広報を実施する。 ・緊急告知FMラジオの購入費助成制度について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から実施	・緊急告知FMラジオ購入費補助制度の周知 ・防災情報メール（登録制）の周知、普及	引き続き実施	・三条市メール配信サービス登録者の増加に向けた取組を実施	引き続き実施					・防災情報メール（登録制）の周知、普及	引き続き実施	・携帯電話やパソコンのメールを利用した五泉あんしんメールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施	・防災情報メール（登録制）の周知、普及	引き続き実施	・防災情報メール（登録制）の周知、普及	引き続き実施		
												・「にいがた防災アプリ」と「緊急告知FMラジオの購入費助成制度」について、防災フェスタや要配慮者利用施設向けの説明会でのチラシ配布、市報掲載などにより周知・広報を実施した。	・H28年度実施済、引き続き実施	・ホームページ等でFMラジオ購入費助成制度や防災情報メールの周知を実施。	・H28年度実施済、引き続き実施	・三条市メール配信サービス登録者の増加に向けた取組を実施。	・H28年度実施済、引き続き実施					・登録者増加に向けて普及活動実施中。	・引き続き実施	・出水期前に市の広報紙で周知。	・引き続き実施	・防災情報メール配信サービス登録者増加に向け広報誌、催事での周知を実施。除雪（一斉）等の情報発信で利便性をアピール。	・引き続き実施	・ホームページ、広報誌等を通じて防災情報メール（登録制）の周知実施。	・引き続き実施		
					津波用同報無線の活用							・津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行う。	H28年度から実施																				
												・【H28.6】津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行った。	・H28年度実施済、引き続き実施																				
					FMラジオの配備事業									・緊急告知FMラジオを町内会、要支援者等へ配布	引き続き実施							・汎用（放送局デジタル選局式）FMラジオの配備事業	引き続き実施										
														・新規要支援者へ配布済み。	・H28年度実施済、引き続き実施							・普及活動実施中。	・引き続き実施										
					Wi-Fiステーション整備																	・燕市観光・防災Wi-Fiステーション整備	引き続き実施										
																						・整備済み。	・H28年度完了										

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
4／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目 （概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		②関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	C	（整備）順次実施（検証・改善）引き続き実施	タイムラインの整備・改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・水防法の改正に伴う浸水想定区域の見直しや、平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、ワーキングを開催して検証を行い、必要な見直しや新たな課題の抽出を行っている。	引き続き実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の検討	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備	順次実施		
						・流域市町村のモデルとして、三条市の関係機関と連携したタイムラインの検証を支援していく。	・引き続き実施	・必要に応じて水位情報等を提供する。	・引き続き実施	・整備中。	・引き続き実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・国、県など関係機関からの情報提供後から検討	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・引き続き実施	・県管理河川の当該浸水想定区域図が公表された後、避難に対する考え方や避難情報の出し方など、対応全体の在り様を改めて検討する。	・新潟県からの情報提供後から検討	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・国、県など関係機関からの情報提供後から検討	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討中。	・引き続き実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・国、県など関係機関からの情報提供後から検討	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・国、県など関係機関からの情報提供後から検討	・策定済み。（中流域）	・引き続き実施	・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を検討。	・国、県など関係機関からの情報提供後から検討		
		③避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善	C	（整備）順次実施（検証・改善）順次実施	タイムラインの整備・改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実施	・北陸地整・県・市・町と共同し、整備・改善を支援	順次実施	・ホットラインのタイミングや庁内の体制などについて、タイムラインの改善を実施する。	H28年度から検討	・信濃川等の各観測所ごとにタイムラインを策定し、必要に応じて見直しを実施	H27年度から実施	・水防法の改正に伴う浸水想定区域の見直しや、平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、ワーキングを開催して検証を行い、必要な見直しや新たな課題の抽出を行っている。	引き続き実施	・避難情報のためのタイムラインの整備	H28年度から検討	・市町村間をまたぐ避難勧告のためのタイムラインの整備	H28年度から検討	・事前防災行動計画（タイムライン：水害版）の運用 ・市町村間をまたぐ避難勧告のためのタイムラインの整備	H28年度から検討	・協議会の中で検討する避難計画（案）等をふまえ改善を行う ・河川管理者と連携を図り、改善・整備を行う。	H27年度から順次実施	・市町村間をまたぐ避難勧告のためのタイムラインの整備	平成28年度より順次実施	・避難勧告のためのタイムラインの整備 ・市町村間をまたぐ避難勧告のためのタイムラインの整備	平成28年度より順次実施		
						・タイムラインは作成済。出水がなかったため未検証。	・出水後に検証	・刈谷田川（長岡市、見附市）のタイムラインを策定済み ・その他河川についても順次策定予定。	・H28年度完了 ・引き続き検討	[H28.9.15] ・タイムラインの気象台業務の記述について北陸地整と協議。	・引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習時にタイムラインを確認。	・引き続き実施	・見直しを検討中。	・引き続き実施	・県管理河川の当該浸水想定区域図が公表された後、避難に対する考え方や避難情報の出し方など、対応全体の在り様を改めて検討する。	・新潟県からの情報提供後から検討	・信濃川下流河川事務所と連携したタイムラインを整備済み。今後検証と更新を行う。	・引き続き実施	・関係機関の体制について整理中。	・引き続き実施	・関係機関と引き続き協議。	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討	・関係機関と引き続き協議。	・引き続き実施	・浸水想定区域、気象情報の改善などを踏まえ引き続き検討。	・引き続き実施		
		④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	D,E F	H28年度から順次実施	洪水浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・信濃川下流洪水浸水想定区域図の策定・公表。 ・浸水継続時間の策定、公表。 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供。	H28年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表を行う。	H28年度以降検討																						
						・【H28.5】信濃川下流洪水浸水想定区域図の策定・公表。 ・【H28.5】浸水継続時間の策定、公表。 ・【H28.5】家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供。	・H28年度完了	・中ノ口川、加茂川、下条川、小阿賀野川、能代川、猿橋川、刈谷田川、五十嵐川の8河川について作成中。	・引き続き検討																						
					氾濫シミュレーションの公表	・想定最大規模降雨の信濃川下流氾濫シミュレーションの公表。	H28年度から実施																						
						・H29年度公表予定。	・引き続き実施																						
■情報伝達、避難計画等に関する取組																															
		⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	H28年度から順次実施	浸水想定区域の浸水深、水継続時間・家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	順次実施																						
						・【H28.5】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を策定・公表し、関係機関、住民に対しHP等を通じて情報提供を実施。	・H28年度完了	・中ノ口川、加茂川、下条川、小阿賀野川、能代川、猿橋川、刈谷田川、五十嵐川の8河川について作成中。	・引き続き検討																						
					立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討							・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	新潟県からの情報提供後から実施	・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	新潟県からの情報提供後から実施	・家屋倒壊危険区域等を確認し、立ち退き避難が必要な区域における柔軟な避難方法等を検討・周知	新潟県からの情報提供後から実施	・浸水想定区域図等から立ち退き避難が必要な区域と避難方法を検討	・H29年度以降検討	・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	・H29年度から検討	・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討	H29年度から検討	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	H29年度以降検討						
												・来年度に予定されている新潟県からの情報提供後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・家屋倒壊危険区域等を確認し、立ち退き避難が必要な区域における柔軟な避難方法等を検討・周知。	・新潟県からの情報提供後から実施	・家屋倒壊危険区域等を確認し、立ち退き避難が必要な区域における柔軟な避難方法等を検討・周知。	・新潟県からの情報提供後から実施	・ハザードマップ作成と併せて検討。	・H29年度以降検討	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討。	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討	・H29年度にハザードマップ作成と併せて検討予定。	・H29年度検討						
					屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討							・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	新潟県からの情報提供後から実施	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	H29年度以降実施	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	新潟県からの情報提供後から実施	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	H29年度以降検討	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討。	・H29年度から検討	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	H29年度から検討	・広域避難の他に屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討 ・家屋倒壊等氾濫想定区域における頑丈で高い建物等での屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討。	H29年度以降検討	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	H29年度以降検討				
												・来年度に予定されている新潟県からの情報提供後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・新潟県からの情報提供後に実施予定。	・H29年度以降実施	・屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討。	・新潟県からの情報提供後から実施	・ハザードマップ作成と併せて検討。	・H29年度以降検討	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討。	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討	・H29年度にハザードマップ作成と併せて検討予定。	・H29年度検討	・ハザードマップを参考にして検討する。	・H29年度以降検討				
					避難所ごとの浸水深・避難可否の確認							・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認を行う。	新潟県からの情報提供後から実施	・避難所の浸水深等の確認及び避難の可否について確認	H29年度以降実施	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認	新潟県からの情報提供後から実施	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認	H29年度以降検討	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認	H29年度以降検討	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認を検討	H29年度から検討	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認。	H29年度以降検討	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認	H29年度以降検討	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認	H29年度以降検討		
												・来年度に予定されている新潟県からの情報提供後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・新潟県からの情報提供後に実施予定。	・H29年度以降実施	・避難所の浸水深等の確認、緊急避難経路の確認。	・新潟県からの情報提供後から実施	・ハザードマップ作成と併せて検討。	・H29年度以降検討	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討中。	・引き続き実施	ー	・H29年度から検討	・H29年度にハザードマップ作成と併せて検討予定。	H29年度検討	・ハザードマップを参考にして検討する。	・H29年度以降検討	・ハザードマップ作成と併せて検討。	・H29年度以降検討		
					自主防災組織の育成・強化																										

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
5／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		⑥参加市・町・村による広域避難計画の策定及び支援	D.E	H28年度から順次実施	計画規模洪水・想定最大規模洪水に対する広域避難計画の検討・策定・支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援する。	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村間の調整や運営上の課題への支援	引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・広域避難の現実性について検討する。	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定 ・想定最大規模の降雨による浸水を考慮した広域避難計画の検討	引き続き実施 新潟県からの情報提供後から実施	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定 ・広域避難の現実性について検討	H28年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・北陸地整、県、関係市町と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討 H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討		
						・作成に必要な情報を提供	・引き続き実施	・引き続き作成に必要な情報の提供及び策定を支援。 ・必要に応じて市町村間の調整や運営上の課題への支援。	・引き続き実施	・引き続き作成に必要な情報の提供及び策定を支援。	・引き続き実施	・検討中。【H29.3現在】	・H28年度から順次実施	・新潟県からの情報提供後に実施予定。	・H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定。 ・遠隔地災害時相互応援協定。 ・想定最大規模の降雨による浸水を考慮した広域避難計画の検討。	・引き続き実施 ・新潟県からの情報提供後から実施	・検討中。	・引き続き実施	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討中。	・引き続き実施	・関係機関と引き続き検討。	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討	・遠隔地災害時相互応援協定（長野県　青木村とH28.7に災害時相互援助等に関する協定締結）。	・一部実施、引き続き検討	・引き続き検討。	・引き続き実施		
		⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D.E F	H28年度から順次実施	洪水ハザードマップの改良・周知	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進する。	H28年度から実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進する。	順次実施			・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。	新潟県からの情報提供後に実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの策定を行い、全戸配布により周知	H29年度以降実施	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・新潟県からの情報提供後から実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの作成 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・避難所の災害別区分化、災害別表示版の設置の検討 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討		
						・機会を捉えた周知、活用促進。	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討			・来年度に予定されている新潟県からの情報提供（浸水想定区域図）後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・新潟県からの情報提供（浸水想定区域図）後に実施予定。	・H29年度以降実施	・新たなハザードマップの策定・周知。 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進。	・新潟県からの情報提供後から実施	・作成に向けて検討中。	・引き続き実施	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討中。	・引き続き実施	・避難所看板は平成28年度差手し、平成29年度に完成予定。 ・ハザードマップは平成29年度に作成予定。	・引き続き実施	・H29年度にハザードマップの作成を予定。	・H29年度実施予定	・H29年3月完成。（広報誌配布に併せ）4/25日に全戸配布。広報紙面で「まちまる」と併せ周知を実施。	・H29年度済、引き続き検討	・ハザードマップ作成に向けた調査・研究を実施。	・引き続き実施		
		⑧水位予測の検討及び精度の向上	B.M	H28年度から検討	水位予測の検討及び精度の向上	・現状予測期間（～3時間） ・更に数時間（4～6時間程度）先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	H28年度から実施	・上流水位局による下流水位予測を検討する。	H28年度以降検討																						
						・H28年度より水位予測を6時間まで予測する。 ・出水後に予測精度の検証を行う。	・引き続き実施	・水位観測所地点における横断測量を実施中。	・引き続き実施																						
		⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J	H29年度	気象情報発進時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善					・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度出水期から実施																				
										[H28.6.8] ・「危険度の色分け表示」、「警報級の可能性」の試行として提供開始。	・H29年度出水期から実施																				
		⑩関係機関が連携した訓練の実施	C，I J	引き続き実施	洪水対応演習、水防訓練等の実施	・洪水対応演習の実施 ・ブラインド型水害対応訓練の実施	引き続き実施	・洪水対応演習の実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・信濃川下流河川事務所等との合同訓練の実施	H28年度実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・市、消防組織、水防団の連携した訓練を毎年実施。今後も関係機関の連携に努めた訓練を実施する。	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・平成28年3月に土地改良施設管理者のための業務継続計画（BCP）策定マニュアルを策定。施設管理者におけるBCP策定の取り組みを進める。	平成28年度～平成32年度まで
						・【H28.5.27】洪水対応演習実施。 ・【H28.7.4】三条市と合同でブラインド型訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習を実施(新潟、新津、三条、長岡)。 ・【H28.5.29】信濃川下流水防訓練へ参加（新潟、新津）。 ・【H28.5.15】信濃川中流水防訓練へ参加（長岡）。 ・【H28.6.19】見附市防災訓練に参加（刈谷田川逆水地警戒情報発信施設の動作確認実施）（長岡）。	・引き続き毎年実施	[H28.5.27] ・洪水対応演習を実施。	・引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	・引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施済み。	・引き続き実施	・【H28.6】出水期前の水害対応総合防災訓練の実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。同時に下条川ダムと情報伝達訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.6】関係機関が連携した総合防災訓練を実施	・引き続き実施	・【H28.5.15】（中流域）訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.6】出水期前に市主催の水防訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.10.2】訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	・引き続き実施	・平成28年8月に新たな土地改良長期計画における成果目標として、「大規模地震等に備えて業務継続計画（BCP）を策定した土地改良区の数　約100地区」が掲げられ、平成32年度までに目標達成に向けて策定推進を努める。（北陸管内11土改、（内信濃川下流域1土改））	・引き続き実施

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
6／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																															
		①自治会や地域住民が参加した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	A	引き続き実施	重要水防箇所の共同点検	・水害リスクの高い箇所について、自治体・地域住民と共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施する。	H28年度から実施			・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・水害リスクの高い箇所について、河川事務所、地域住民等と共同点検を実施する。	H27年度実施（上須頃地区）	・河川管理者等が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と地域住民等が参加して、リスクの高い区間の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施する。	・引き続き検討	・河川管理者と自治会や地域住民が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き実施		
						・【H28.5.25,26】自治体・地域住民と共同点検を実施した。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25,26】信濃川下流水防連絡会主催で県及び消防機関及び関係自治会等の参加で重要水防箇所の巡視を実施（新潟）。	・引き続き毎年実施			・【H28.5.26】河川管理者、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25】河川管理者と自治会や地域住民が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施。	・引き続き毎年実施	・【H27.12】水害リスクの高い箇所について、河川事務所、地域住民等と共同点検を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25】河川管理者と自治体等で重要水防箇所等の共同点検を実施。	・引き続き実施	・【H28.7】河川管理者と自治体等で重要水防箇所等の共同点検を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25】水害リスクの高い箇所について、河川事務所と共同点検を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】河川管理者と自治体で重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き検討	・【H28.5.25】河川管理者と水防団が参加して重要水防箇所等の共同点検を実施。	・引き続き実施		
		②小中学校等における水災害教育を実施	A	引き続き実施	出前講座（水害教育）の実施	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 ・信濃川下流域情報アーカイブの充実化、広報を積極的に行っていく。	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施			・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育（洪水災害）を実施する ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。 ・防災に関する体験学習を行う施設や出前講話などを行ってくれる組織と連携した防災学習を促進する。 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施	H27年度から実施	・防災教育コンテンツ（教材）を小中学校に設置し、防災教育で活用するとともに、必要に応じて講師を派遣 ・小中学生の子をもつ世帯を対象とした親子防災キャンプの実施	H27年度から実施	・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施	H25年度から実施	・小中学校での水害教育並びに資料提供を実施している。	引き続き実施	・小中学校を対象に過去の水害の状況、対策等についての防災教育を実施している。	毎年実施	・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。 ・防災リーダー養成講座受講生と小学6年生協働での防災キャンプの実施	H28年度から検討	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施		
						・出前講座に関するチラシを作成し関係機関に配布。 ・信濃川下流域情報アーカイブのバナーを各関係機関HPへ掲載するよう呼びかけ、問い合わせ窓口で意見等随時受付中。 ・小中学生を対象に開屋分水資料館見学を通して、分水の役割や水害の歴史についての講習会を実施。	・引き続き実施	・刈谷田川（名木野小学校、見附中学校）において、出前講座を実施（長岡）。 ・栖吉川（市立川崎小学校、附属長岡小学校）において出前講座を実施（中流域）（長岡）。	・引き続き実施			・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育（洪水災害）を実施している。	・引き続き実施	・選定したモデル校で防災教育コンテンツを活用中。 ・【H28.9.17-18】防災キャンプ実施済み。	・引き続き実施	・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・要望を受け次第、資料の提供を行っている。	・引き続き実施	・中学校への防災教育、小学校への防災スクールを実施。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・防災教育プログラムは引き続き実施。 ・【H28.9】防災キャンプ実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.7.19】川東中学校の依頼により、川東中学校・小学校の生徒を対象に防災学習の出前講座を実施。	・引き続き実施	・水防関係施設の見学等も含めて実施している。 ・ハザードマップを校内に掲示。 ・パネル展を実施。（横田切れ、他）	・引き続き実施	・施設見学等も含めて実施している。	・引き続き実施		
					教育委員会との連携・効果的な対応の検討					・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。	H28年度から実施																				
										・検討中。	・引き続き実施																				
		③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	引き続き実施	説明会・見学会の実施	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 ・住民に対する防災情報等に関する啓発・協力 ・洪水に関する防災教育プログラム制作 ・信濃川下流域情報アーカイブ	引き続き実施	・市町の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施			・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施する。	新潟県からの情報提供後に検討	・町内会等の依頼により職員を派遣し、出前講座を実施 ・年1回出水期前に町内会長等を対象とした防災対策説明会を実施	引き続き実施	・自治会長や民生委員等向けに、防災に関する説明会を実施	引き続き実施	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施する。	新潟県からの情報提供後に検討	・住民に対する防災情報等に関する啓発・協力 ・消防団員に対する避難情報対応に関する啓発・協力 ・洪水に関する防災教育プログラム制作	引き続き実施	・新潟大学　災害・復興科学研究所との「防災まちづくり」に関する協定 ・住民に対する防災情報等に関する啓発・協力の実施 ・洪水に関する防災教育プログラム制作の検討	H28年度から検討	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施する。	H29年度以降実施	・住民に対する防災情報等に関する啓発・協力 ・消防団員に対する避難情報対応に関する啓発・協力 ・洪水に関する防災教育プログラム制作	H28年度から検討	・住民に対する防災情報等に関する啓発・協力 ・消防団員に対する避難情報対応に関する啓発・協力 ・洪水に関する防災教育プログラム制作	H28年度から検討		
						・【H28.9.10】公募した参加者（36名）に対し、水防災意識の高揚を図る出前講座（「信濃川治水歴史巡り」）を実施。 ・【H28.11.8】自治会（30名）を対象に蒲原大堰・中之口水門現場見学会を実施。	・引き続き実施	・洪海川（町内会）において、出前講座を実施（中流域）（長岡）。	・引き続き実施			・自主防災組織や消防団など住民向けに、出前講座や勉強会を実施。（啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、職員による講演など）	・H28年度実施済、引き続き実施	・町内会等の依頼に応じて出前講座を実施中。 ・【H28.5.26】防災対策説明会実施済み。	・引き続き実施	・自治会長や民生委員等向けに、防災に関する説明会を実施。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き実施	・【H28.4】住民・消防団に対する出前講座を実施。	・H28年度実施済、引き続き実施	・出前講座を各所で実施。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き検討	・自主防災組織や消防団など住民向けに、パネル展を実施。（横田切れ、他）	・引き続き実施	・各自主防災組織による防災訓練開催時に啓発を行った。	・引き続き実施		
					関係機関との連携・効果的な対応の検討					・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。 ・住民に対する防災気象情報の普及・啓発活動	H28年度から実施																				
										・機会あるごとに水防災に関する防災気象情報を説明。	・引き続き実施																				
		④まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I	順次実施	洪水ハザードマップの検討・整備支援	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図の 作成と公表	引き続き実施			・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施	・避難所の見直し等に伴う変更を実施	引き続き実施	・ハザードマップの作成の際に検討する。	H29年度以降実施	・ハザードマップの見直しに併せて検討を行う。	H29年度以降実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度から検討	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施	・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討する。	H28年度から実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施
						・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップ作成への情報提供を実施。	・引き続き実施	・中ノ口川、加茂川、下条川、小阿賀野川、能代川、猿橋川、刈谷田川、五十嵐川の8河川について、浸水想定区域図作成中。	・引き続き検討			・ハザードマップの見直しの際に検討する。	・H29年度以降実施	・ハザードマップの見直しの際に検討予定。	・H29年度以降実施	・避難所の見直し等に伴う変更を実施。	・引き続き実施	―	・H29年度以降実施	―	・H29年度から検討	―	・H29年度以降実施	・検討中。	・引き続き検討	・（中流域）設置済み。	・H28年度完了	・ハザードマップの見直しの際に検討。	・H29年度以降実施		
		⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	順次実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・洪水時の情報収集や避難の判断基準等を一般住民に理解してもらえる家庭向けのチラシを作成し、ホームページで公表 ・チラシを市町村や県地域整備部へ配布	引き続き実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	新潟県からの情報提供後に検討	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度以降検討	・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく	引き続き実施	・洪水の基礎知識や情報収集の方法などを市広報誌に特集を組んで配布する。	引き続き実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配付	H28から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配付	H29年度から検討	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配付	H29年度から検討	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配付	H29年度から検討	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配付	H29年度から検討
						・浸水想定区域図や信濃川下流域情報共有プラットホーム等の情報を盛り込んだ水防災パンフレットの作成を検討中。	・引き続き実施	・クリアファイル「洪水から命を守る」の配布。 ・水防月間ポスターの掲示。	・引き続き実施	・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用。	・引き続き実施	・【H28.9～】河川管理者が作成した水防災に関するパンフレットを区役所の窓口に設置、自治会へ配布している。	・引き続き実施	・新潟県からの情報提供後に実施予定。	・H29年度以降検討	・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく。	・引き続き実施	・記事の内容を精査中。	・引き続き実施	・市主催イベントにて広報用チラシを配布。	・引き続き実施	―	・H29年度から検討	・検討中。	・引き続き検討	・【H28.10.2】防災訓練の際にハザードマップ簡易版の全戸配布を実施。 ・広報誌等を利用しての周知実施を検討。	・一部実施、H29年度から検討	・ホームページ、広報誌等を通じて広報を実施。	・H29年度から検討		

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
7／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	順次実施	自主防災のあり方役割の(再)啓発			・自主防災組織の育成・活性化のため、住民への意識啓発や、市町村・自主防災組織に向けた先進事例の提供等の取組を行う。	引き続き実施					・防災訓練を実施した自主防災会に対し、活動報償金を支給 ・自主防災会が整備する防災備品に対し、補助金を支給	引き続き実施 H28年度から実施	・自主防災組織の結成率の向上を図る。	引き続き実施	・自主防災組織を結成しておらず、消防団が同様の役割を担っている。 ・消防団員数を増やすための啓発	引き続き実施			・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	引き続き毎年実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施		
								・地域防災交流会議の開催 ・モデル事業の実施（2市） ・「自主防災活動活性化のてびき」作成、市町村へ配布。 ・自主防災ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ開催（3回）	・引き続き実施					・訓練を実施した自主防災会に活動報償金を支給。 ・自主防災会が整備した防災備品に補助金を支給。	・引き続き実施	・自主防災組織の結成率の向上を図る。	・引き続き実施	・【H29.2】消防団参加への呼びかけを実施。	・H28年度実施済、引き続き実施			・自主防災組織結成支援や自主防災組織の活動内容支援のため「燕市防災リーダー養成講座」を実施。 ・各所で出前講座を実施。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・【H29.1.14】 自主防災シンポジウムを開催。 自主防災組織のあり方、役割について啓発を実施した。 （参加者100名）	・引き続き実施、検討	・自主防災組織が訓練等を行なう際に活動の支援を実施。 ・自主防災組織が整備する防災備品に補助1/2を支給。	・H28年度実施済、引き続き毎年実施	・【H28.5.26】「田上町自主防災組織連絡協議会」を通じて実施。	・引き続き実施		
					実施的な研修・訓練の実施							・住民の防災意識を高めるための研修を実施する。	引き続き実施			・住民の防災意識を高めるための研修を実施する。 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	引き続き実施 今後検討	・県や日本消防協会等の行う研修・意見交換会への参加。	引き続き実施	・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施 ・災害時の対応等についての事例紹介・研修の実施	H28年度から順次実施予定	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	H29年度から検討	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	H28年度から順次実施		
												・自主防災組織や消防団など住民向けに、出前講座や勉強会を実施。（啓発DVDや楽雨・台風動画の視聴、職員による講演など）	・引き続き実施			・住民の防災意識を高めるための研修を実施する。 ・新たなハザードマップ等に基づく避難訓練の実施	・引き続き実施 ・今後検討	・H28年度は参加なし.	・引き続き実施	・訓練・研修用の資料を作成中。	・引き続き実施	ー	・H29年度から検討	・検討中。	・引き続き検討	・【H28.10.2】浸水想定区域内の自主防災組織を対象に自衛隊車両による避難訓練を実施。	・引き続き実施	・自主防災組織リーダー研修の実施。	・引き続き実施		
					自主防災組織の設立支援・防災士の養成							・自主防災組織の結成率の向上を図る。	引き続き実施	・「中越市民防災安全大学」を開講し、地域の防災リーダーの育成を図る	H28年度から実施									・自主防災組織率が低いため、引続き設立の支援を行う。	H28年度から順次実施						
												・【H28.4～】江南区で未結成の自治会へ説明会を実施し、結成率の向上を図った。	・引き続き実施	・H28年度の安全大学で47名が卒業。	・引き続き実施									・引き続き支援を行う。	・引き続き実施						
2．ソフト対策の主な取組　②氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組																															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																															
		①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	N	引き続き毎年実施	出水時連絡体制の確認	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。 ・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施			・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・水防連絡会による連絡体制の確認	引き続き毎年実施			・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防連絡会で連絡体制を確認する。	引き続き毎年実施	・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団等への連絡体制の再確認（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施		
						・【H28.4.28】出水期前に行う水防連絡会にて連絡体制の再確認を行った。	・引き続き毎年実施	・【H28.4.28】水防連絡会にて確認（各地域）。 ・【H28.6.16】刈谷田川水防連絡会、中之島地域水防連絡調整会議に参加（長岡）。	・引き続き実施			・【H28.4.28】水防連絡会にて確認。	・引き続き毎年実施	・【H28.4.28】水防連絡会による連絡体制の確認を実施。	・引き続き毎年実施			・実施未定。	・引き続き実施	・上記事業について継続・実施中。	・引き続き毎年実施	・【H28.4.28】水防連絡会にて確認。	・引き続き実施	・【H28.4.12】水防連絡会にて確認。	・引き続き毎年実施	・【H28.10.2】水防団等への連絡体制を確認。	・引き続き毎年実施	・【H28.4.28】水防連絡会にて確認。	・引き続き毎年実施		
					情報伝達訓練の実施・参加・支援	・県・市・町・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 ・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練への支援	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施	・無線定時交信の実施 ・河川管理者が実施する情報伝達訓練への参加	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び三条市における水害対応総合防災訓練の実施	引き続き実施	・関係機関の情報伝達訓練	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・水防訓練、防災訓練を通じて、情報伝達訓練を検討する。	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関の情報伝達訓練及び各市における避難実動訓練の実施	引き続き毎年実施		
						・【H28.5.27】毎年出水期前に沿川自治体も参加した情報伝達訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習を実施。	・引き続き毎年実施	［H28.5.27］ ・洪水対応演習を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習を実施。	・引き続き毎年実施	・週一回、無線定時交信を実施。 ・【H28.5.27】河川管理者が実施する情報伝達訓練へ参加。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】関係機関の情報伝達訓練及び三条市における水害対応総合防災訓練の実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習と併せて実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】総合防災訓練にて関係機関の訓練を実施。連絡体制を確認。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】情報伝達訓練実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】情報伝達訓練に参加。 ・【H28.9.25】防災訓練を通じて、情報伝達訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.10.2】関係機関との情報伝達訓練及び避難実動訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・出水期前に職員の対応確認を実施。	・引き続き毎年実施		
		②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	L,M,N	引き続き実施	重要水防箇所の合同巡視	・重要水防箇所等の合同巡視を実施する。 ・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施			・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施	・消防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・市消防本部等が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き実施	・消防本部等が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き毎年実施	・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き検討	・水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）	引き続き毎年実施		
						・【H28.5.25.26】沿川自治体・地域住民と共同点検を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25.26】信濃川下流で県及び消防機関及び関係自治会等の参加で重要水防箇所の巡視を実施。 ・【H28.6.2.3】県管理河川において、出水期前合同巡視を実施（長岡）。	・引き続き毎年実施			・【H28.5.26】河川管理者、新潟県と合同で重要水防箇所、および各機関管理の水防倉庫の備蓄資材等の確認を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.26】消防団が参加した出水期前合同巡視を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5】市消防本部等が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.25】消防本部等と出水期前に合同巡視を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5月.7月】水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会義）。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.26】合同巡視実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】河川管理者と自治体で重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き検討	・【H28.5.25】水防団が参加した出水期前合同巡視の実施（水防連絡会会務）。	・引き続き毎年実施		
		③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	P,Q	引き続き毎年実施	出水期前の水防訓練の実施・参加・支援	・水防管理団体が行う訓練へ参加する。 ・水防工法講習会の支援等を行う。 ・関係機関が連携した水防実働訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関等の要請により、訓練への支援	引き続き実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施する。 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施する。	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練への参加	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した水防実働訓練への参加	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練の実施	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練への参加	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施する。 ・水防訓練、防災訓練の内容を検討する。	引き続き毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練への参加	引き続き検討	・関係機関が連携した水防実働訓練への参加	引き続き毎年実施		
						・【H28.5.29】水防連絡会主催による水防訓練を開催。 ・【H28.10.24】整備局主催による水防技術講習会に参加。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.29】信濃川下流水防訓練へ参加（新潟、新津）。 ・【H28.5.15】信濃川中流水防訓練へ参加（長岡）。 ・【H28.6.19】見附市防災訓練に参加（刈谷田川遊水地警戒情報発信施設の動作確認実施）（長岡）。	・引き続き毎年実施	・関係機関等の要請により、訓練への支援。	・引き続き実施	・【H28.5.29】南区赤渋で水防訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.15】関係機関が連携した水防実働訓練へ参加。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】関係機関が連携した水防実働訓練の実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.29】信濃川下流河川事務所が行う水防実動訓練に参加。	・引き続き毎年実施	・【H28.6】防災訓練にて水防実動訓練を実施。関係機関と連携し住民への情報周知訓練を行った。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.15】中流域において訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.6.5】水防訓練を実施。 ・【H28.9.25】防災訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き検討	・【H28.5.29】水防訓練への参加。	・引き続き毎年実施		
		④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	O,Q	引き続き実施	水防団員の募集促進							・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・防災活動協力事業所の募集を促進する。	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施する。 ・市内参加企業による団員の優遇措置。	引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施		
												・水防団員の募集促進のため、「学生消防団活動認証制度」を導入した。	・引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進	・引き続き毎年実施	・防災活動協力事業所の募集を促進する。	・引き続き実施	・【H29.2】消防団参加への呼びかけを実施。	・引き続き毎年実施	広報・HP、地元消防団を通じ募集中。	・引き続き毎年実施	・引き続き実施。	・引き続き実施	・広報に掲載【5.10号・8.25号】。	・引き続き毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	・引き続き毎年実施	・自治会と協力し、新規入団員の勧誘の実施。	・引き続き毎年実施		
		⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	P	引き続き実施	水防技術講習会への参加	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会への参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	H29年度からの参加を検討	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施	・水防技術講習会に参加する。	引き続き実施		
						・【H28.10.24】整備局主催による水防技術講習会に参加。	・引き続き毎年実施	・整備局主催水防技術講習会への参加。 ・【H28.6.14】職場研修において、水防技術実施演習を開催（長岡）。	・引き続き実施			・【H28.9～】水防技術講習会に参加。	・引き続き実施	ー	・H29年度からの参加を検討。	・【H28.11】水防技術講習会に参加。	・引き続き毎年実施	・H28年度は参加者なし。	・引き続き実施	・【H28.11】防災、消防担当職員が水防技術講習会に参加済み。	・引き続き実施	ー	・引き続き検討	・【H28.10】水防技術講習会に参加。	・引き続き実施	・【H28.10.24】水防技術講習会に参加を予定していたが、叶わなかった。	・引き続き実施	・H28年度は、都合により不参加。	・引き続き実施		
		⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	R	H28年度から検討	復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討 ・河川防災ステーションの整備を行う。【新潟市天野地区】	H28年度から検討 引き続き実施	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度以降検討			・水防センターの整備を行う。【新潟市天野地区】	H29年度以降実施																		
						・河川防災ステーションの整備【新潟市天野地区】（H26～）	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討			・水防センターの整備を行う。【新潟市天野地区】	・H29年度以降実施																		

信濃川下流大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組
8／8　（様式１－取組一覧）　取組状況確認様式

※上段：平成28年8月 取組方針策定時の実施内容と時期　下段：平成29年3月31日段階の取組状況（進捗）
※「課題の対応（A～Z）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針H28.8.4」参照)に対応したものかを指す。

資料－３

減災のための取組項目（概ね５年間）						北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■流域対策に関する取組																															
	①平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討を実施		D，E	引き続き実施	平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討	・新たな治水対策の検討を実施	引き続き実施																								
						・新たな治水対策の検討を実施	・引き続き実施																								
	②流域における氾濫被害軽減に向けた対策の検討を実施		D，E	H28年度から検討	外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・想定を超えた外水氾濫に対する被害の軽減について今後検討が必要	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H29年度から検討	・雨水貯留施設等の整備を実施	引き続き実施	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	H28年度から検討		
						・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の実施	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討	・検討中。	・引き続き検討	・検討中。【H29.3現在】	・引き続き実施	・市が管理する河川・水路の整備を実施。	・引き続き実施	・雨水貯留施設等の整備を実施。	・引き続き実施	・引き続き検討。	・引き続き検討	・避難方法、避難区域等について検討中。	・引き続き実施	ー	・H29年度から実施	・検討中。	・引き続き検討	・検討中。	・引き続き検討	・検討中。	・引き続き検討		
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																															
	①要配慮者利用施設及び避難確保計画の作成に向けた支援を実施		K	順次実施	避難計画策定の推進	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う。	引き続き実施			・要配慮者利用施設について、説明会の実施やお知らせの送付などにより避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う(一部施設策定済み)	引き続き実施	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	新潟県からの情報提供後から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施		
						・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成に向けた施設管理者を対象とした説明会を実施	・引き続き実施	・要配慮者利用施設向け啓発チラシを作成済み。 ・要配慮者利用施設管理者へ説明会を実施(新潟市内実施済み、他地域はH29.3実施)。	・H28実施済、引き続き実施			・【H28.11.30】要配慮者利用施設について、施設管理者向けの説明会を実施し、避難計画策定の推進を行った。	・H28実施済、引き続き実施	・要配慮者利用施設について、避難計画の策定依頼及び緊急時の連絡体制を構築中。	・引き続き実施	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	・新潟県からの情報提供後から実施	・どのような形で推進を図るか検討中。	・引き続き検討	・施設の計画策定状況を集約。	・引き続き実施	ー	・H29年度から実施	・検討中。	・引き続き検討	・H28年度、要配慮者利用施設と、避難計画策定についての打合せ等を実施。	・引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討		
					要配慮者利用施設における避難訓練の支援																										
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動		I	引き続き実施	浸水リスクの説明・水害対策等の啓発活動	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策等を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策等を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施			・大規模工場へ浸水リスクの説明や水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から実施																			
						・自治体、施設管理者等からの要請に基づき、技術的な助言等を実施。	・引き続き実施	・中ノ口川、加茂川、下条川、小阿賀野川、能代川、猿橋川、刈谷田川、五十嵐川の8河川について、浸水想定区域図作成中。	・引き続き検討			・検討中。【H29.3現在】	・引き続き実施																			
2．ソフト対策の主な取組　③一刻も早く社会・経済活動等を回復させるための排水活動や協働の取組																															
■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施																															
	①大規模水害を想定した信濃川下流排水計画（案）の検討を実施		T,U	H28年度から検討	排水計画の検討	・排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画等を検討する。	H28年度から検討	・排水ポンプ車に関する以下の情報の確認及び情報共有 ①排水ポンプ車想定箇所リスト ②浸水常習箇所リスト ③排水ポンプ車想定箇所カルテ ④排水ポンプ車想定箇所図	引き続き毎年実施			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所のを選定する。	H29年度から検討	・関係機関と協力して検討を実施	今後検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の検討	・H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定する。	H29年度から検討	・排水負担のあり方も含めて、信濃川下流排水計画（案）の策定に際し、関係機関と協力して検討を実施	H28年度から検討
						・氾濫ブロック毎の排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画等の検討を実施	・引き続き実施	・上記情報を確認し、国と共有。	・引き続き毎年実施			・検討中。【H29.3現在】	・引き続き実施	・所管する樋門等の操作要領や操作方法等についての現状把握を実施。	・H29年度以降の実施を検討	・関係機関と協力して検討を実施。	・今後検討	・引き続き検討。	・引き続き検討	・上記事業について検討準備中。	・H29年度から検討	・調査検討中。	・引き続き調査検討	・検討中。	・引き続き検討	・下流域についての必要性の有無について調査検討予定。	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討	ー	・H29年度以降から検討
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備		U	引き続き実施	出水時連絡体制の確認・整備	・毎年、出水期前に県・市・町・村と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。 ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備	引き続き毎年実施			・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	H29年度以降検討	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き検討	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備 ・排水ポンプ車配備訓練の実施	引き続き毎年実施		
						・情報連絡体制を整備するとともに、排水ポンプ車等の設営訓練を出水期には月１回、非出水期には2ヶ月に１回実施。	・引き続き毎年実施	・連絡体制を確認し、国と共有。	・引き続き毎年実施			・【H28.5.27】洪水対応演習にて排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行った。	・引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備を実施。 ・【H28.6.19】排水ポンプ車配備訓練を実施。	・引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備。 ・【H28.6】排水ポンプ車配備訓練の実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習と併せて実施。	・引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認をH28に実施した。なお、配備訓練はH29に実施予定。	・引き続き毎年実施	・【H28.5.27】洪水対応演習にて排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行った。	・引き続き調査検討	・【H28.10.28】河川管理者が行う災害対策者訓練に参加。	・引き続き毎年実施	・検討中。	・引き続き検討	・検討中。	・引き続き検討		
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施		W	順次実施	排水実働訓練・水防管理団体が行う水防訓練への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施を行う。 ・水防管理団体が行う水防訓練等へ参加する。 ・関係機関が連携した排水実働訓練を実施する。	H28年度から実施	・排水ポンプ車の実働訓練の実施	引き続き毎年実施			・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練への参加を検討する。	H29年度から実施	・関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・信濃川下流河川事務所や水防活動協力事業所等と連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した排水実働訓練の実施	H29年度から検討	・関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した排水実働訓練の実施	H29年度以降検討	・水防訓練と合同で実施を検討する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	H29年度から実施	・水防訓練と合同で検討する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練への参加を検討する。	H29年度から検討	・水防訓練と合同で検討する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練への参加を検討する。	H29年度から検討		
						・排水ポンプ車の訓練を実施（9回実施）。 ・市町村の水防訓練への排水ポンプ車の参加。	・引き続き毎年実施	・貝喰川及び中之島川で排水ポンプ車実働訓練を実施（三条、長岡）。 ・新潟市北区新崎での災害対策車両の訓練へ参加。（新潟）。	・引き続き毎年実施			・【H28.5.29】南区赤渋での水防訓練にて、河川管理者と合同で災害対策車両の訓練を実施。	・引き続き毎年実施	・【H28.6.19】関係機関が連携した排水実働訓練を実施。	・引き続き実施	・【H28.6】信濃川下流河川事務所や水防活動協力事業所等と連携した排水実働訓練の実施。	・引き続き毎年実施	ー	・H29年度から検討	・【H28.6】関係機関の連携した総合防災訓練を実施	・引き続き実施	・調査検討中。	・引き続き調査検討	・【H28.10.28】河川管理者が行う災害対策者訓練に参加。	・引き続き毎年実施	ー	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討		
	④内水排水ポンプの運転調整の検討		T,U V	H28年度から検討	内水排水ポンプの運転調整基準及び方法の検討	・運転調整基準及び方法の検討	H29年度から検討	・中ノ口川における内水排水ポンプの運転調整の見直しを検討	H28年度以降検討			運転調整基準及び方法の検討	国・県など関係機関からの情報提供を踏まえ検討			・運転調整基準及び方法の検討	今後検討	・運転調整基準及び方法の検討	H29年度から検討									・運転調整基準及び方法の検討	H29年度から検討	・排水機場の運用方法（操作規則）の変更について、関係機関と協議を開始	H28年度から開始
						・H28年度は、排水調整を実施した場合の内水域での被害予測を各排水機場毎に整理。	・引き続き検討	・検討中。	・引き続き検討			・運転調整基準及び方法の検討。	・国・県など関係機関からの情報提供を踏まえ検討			・運転調整基準及び方法の検討。	・今後検討	・方法は確立済み、課題が出てき次第、改善する。	・H29年度から検討									ー	・H29年度から検討		・引き続き実施
■救援・救助活動の効率化に関する取組																															
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施		E,T	H28年度から検討	広域支援拠点等の検討・支援	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討			・新たな浸水想定区域に対応した人員や物資の輸送・供給計画の見直しを検討	新潟県からの情報提供後に検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	新潟県の動向を踏まえて検討	・新たな浸水想定区域に対応した拠点等配置の見直しを検討	新潟県からの情報提供後に検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H28年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討		
						・堤防天端に対空標示(ヘリサイン)を設置。 ・防災拠点として天野防災ステーションの整備を実施中。	・H28年度実施済、引き続き実施	・検討中。	・引き続き検討			・来年度に予定されている新潟県からの情報提供後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・新潟県の情報提供後に検討予定。	・新潟県の動向を踏まえて検討	・新たな浸水想定区域に対応した拠点等配置の見直しを検討。	・新潟県からの情報提供後に検討	ー	・H29年度から検討	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せ検討の準備中。	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討	・検討中。	・引き続き検討	・新たな浸水想定区域に対応した拠点等配置の見直しを検討。	・H29年度から検討	ー	・H29年度から検討		